

{ 特定施設の種類(種類及び能力)ごとの数  
 特定施設の使用の方法  
 騒音(振動)の防止の方法 } 変更届出書

年 月 日

長野市長 様

住所  
届出者  
氏名

{ 法人にあっては、  
名称及び代表者の氏名 }

{ 騒音規制法第8条第1項  
 振動規制法第8条第1項  
 長野市公害防止条例第7条第2項 } の規定により、特定施設の種類(種類及び能力)ごとの数、使用の方法又は騒音(振動)の防止の方法の変更について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の 名 称					※整理番号			
					※受理年月日	年 月 日		
工場又は事業場の 所 在 地					※施設番号			
用 途 地 域					※審査結果			
騒音振動防止の方法	変更前		変更後		※備 考			
	別紙のとおり							
特 定 施 設 の 種 類	型 式	公称能力 (kw)	数		使用開始時刻		使用終了時刻	
			変更前	変更後	変更前 (時・分)	変更後 (時・分)	変更前 (時・分)	変更後 (時・分)

- 備考
- 1 特定施設の種類(種類及び能力)ごとの数又は特定施設の使用の方法に変更がある場合であっても、騒音規制法第8条第1項又は振動規制法第8条第1項ただし書きの規定により届出を要しないこととされる場合、当該特定施設の種類については、記載しないこと。
  - 2 特定施設の種類の欄には、騒音規制法施行令別表第1又は振動規制法施行令別表第1に掲げる項番号及びイ、ロ、ハ等の細分があるときはその記号並びに名称を記載すること。
  - 3 騒音(振動)防止の方法の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面表等を利用すること。また、変更前及び変更後の内容を対照させること。
  - 4 ※印の欄には、記載しないこと。
  - 5 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。
  - 6 届出は、届出書の正本にその写し一通を添えること。